

●りんご

《アッププラン目標値》

◆収量アップを前提とした栽培管理と品質アップによる単価確保

◎反 収	現 状	実反収 3t	正品化率 70%	正品数量 2.1t
	10年後	4t	85%	3.4t
◎販売額	10a当たり50万円 ⇒ 10年後 87万円			
◎特秀品率のアップによる価格確保	Aゾーン率12.9% ⇒ 20%			
◎平均糖度及び蜜入り	糖度平均14度以上、蜜入り3以上			

《重点取組事項》

◎適正植栽本数への取り組み	【丸葉台】8m×8m 16本/10a 【ワイ台】6m×4m 42本/10a(M26台の場合) 【HTS型】6m×6m 28本/10a《平成30年春導入》 広く間隔をあげ樹間内部への採光確保や防除効率による品質向上と、作業機械トラックの利用効率化を図る(作業軽減)
◎改植への推進	①樹勢低下や老木の改植 ②品質の良い優良系統の栽培(コスモふじ・宮美ふじ等) ③中生種の品種検討(赤系で9月下旬～10月上旬に収穫できる品種)
◎栽培管理の徹底	①収穫遅れ防止 適期収穫、管理作業時の雇用確保 ②土壌分析の実施による結果に基づいた施肥施用 JAオリジナル肥料『みらいる物語りんご基肥』の施用 ③特秀品率向上に向け、適期防除に努める ④充実した花芽確保による収量・特秀品率アップ(剪定時に昨年着果した箇所の弱い花芽を除去し、次年度に充実した花芽を確保する) ⑤受粉樹の導入による「ふじ」の結実確保。(シナノスイートの推奨)□ ⑥防霜対策の徹底による中心果の確保。点火資材及びアイスバリアの活用) ⑦摘花剤・摘果剤・摘葉剤の使用による労賃削減 ⑧カミキリムシ・ヒメボクトウ対策としてエアゾール式殺虫剤の活用 ※サビ果の発生要因と対策については県に調査要望を提出する予定。

【各地区の共選状況】主要上位品目 ※数量は平成28年度共選取極量

地区	出荷者	年間出荷量		1	2	3	4	5
福島	610名	2,932t	品種	サンふじ	サンつがる	王林	陽光	シナノスイート
			数量	2,393t	162t	128t	110t	82t
伊達	150名	151t	品種	サンふじ	陽光	王林	サンつがる	シナノスイート
			数量	111t	6.1t	5.7t	5.5t	0.1t

【10a当たりの反収・販売額】

サンふじ	現状平均	3t	サンふじ	現状平均	50万円
	連絡協議会目標	4t		連絡協議会目標	87万円
	最高反収	5t		最高販売額実現農家	100万円

【将来(10年後)連絡協議会目標】

品種	実反収	単価	販売額
サンふじ	3.4t	255円	87万円

【平成28年度「サンふじ」等階級比率(レギュラー品)】

等階級	20玉	24玉	26玉	28玉	32玉	36玉	40玉	計
特秀	1.7%	2.3%	2.6%	3.4%	2.9%	1.2%	0.2%	14.3%
秀	2.6%	4.4%	5.5%	7.3%	6.1%	2.5%	0.4%	28.8%
○秀	4.3%	6.6%	8.7%	11.8%	10.0%	3.9%	0.6%	45.9%
赤秀	0.8%	2.1%	2.1%	3.0%	2.0%	0.9%	0.1%	11.0%
合計	9.4%	15.4%	18.9%	25.5%	21.0%	8.5%	1.3%	100.0%

* ○秀規格は福島地区のみ対象

【ゾーン別等階級比率及び単価】

ゾーン区分	H28比率合計	H28単価
Aゾーン	12.9%	370円
Bゾーン	30.2%	260円
Cゾーン	45.9%	198円
Dゾーン	11.0%	160円
合計	100.0%	235円

【目標数値】

ゾーン区分	H28数値	目標数値	ゾーン単価
Aゾーン	12.9%	20%	370円
Bゾーン	30.2%	40%	260円
Cゾーン	45.9%	35%	198円
Dゾーン	11.0%	5%	160円
合計	100%	100%	255円